



《ピリジャンの絵》1962年頃

# 清川泰次

2014年8月9日<sup>土</sup> — 12月7日<sup>日</sup>

## 色との対話

開館時間=10:00~18:00(最終入館は17:30まで) 休館日=毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館し、翌日休館)  
観覧料=一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円) ※障害者の方は100円(80円)。  
ただし障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名に付き、1名に限る)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。  
※( )内は20名以上の団体料金。※小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料。交通案内=小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL 03-3416-1202 <http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

# 清川泰次

## 色との対話

固定した色  
というものは  
ない

一つの色でも  
その大きさや  
それを置いた  
周囲との関係で  
無限の変化をする  
ように

固定した色  
というものは  
ない

ちょうど  
固定した人間  
が  
ないように

清川泰次  
『絵と心』1967年

静岡県浜松市に生まれた清川泰次(1919-2000)は、戦後、本格的に絵を描き始めるようになり、抽象表現主義が台頭していたアメリカへ1951年から3年間、そして再び1963年から3年間にわたって滞在し、絵の制作に励みました。そして制作の根拠を、人物や風景といった具体的な事物である「もの」からではない、自由な表現を求め、生涯にわたり作品を制作し続けました。「もの」からできるだけ距離を置くことを意識した清川泰次にとって、絵画を成立させるために「色」は、とても重要なテーマであったといえるでしょう。

「色」がまだ「もの」を形成するための一要素として役割を担っていた初期の作品。そして「色」そのものが絵画の主役となった1960年代の油彩作品は、一見、一色に見えるような画面のなかにも、微妙な色やマチエールの工夫をみることができます。そして、晩年の作品からは、アクリル絵具の明快な色と色の響き合いを感じることができます。

本展では、清川泰次の作品から「色」に注目し、初期作品から晩年までの作品、約15点をご紹介します。

小展示室では、清川泰次が1954年頃、ヨーロッパを旅行した時に撮影した、当時としてはまだ珍しかったカラー写真も併せてご紹介します。

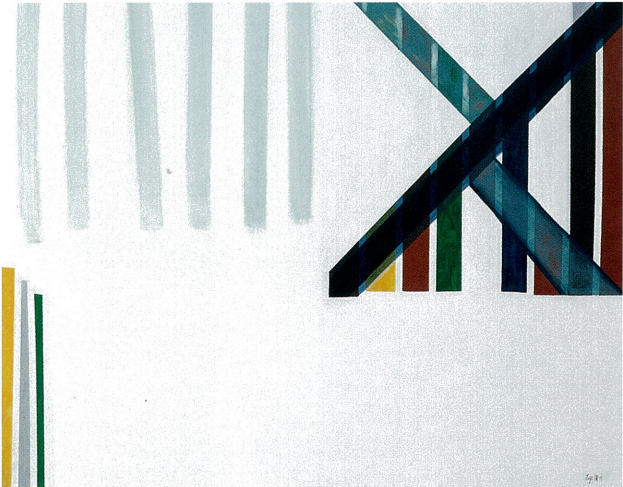
- ①《黒と赤の三角-54》1952-1954年
- ②《ピンクの空》1956年
- ③《Painting No.194》1994年
- ④《Painting No.5-62-3 赤とグレー》1963年
- ⑤《Painting No.SF364》1964年



①



②



③



④



⑤

世田谷美術館分館

## 清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17

TEL 03-3416-1202

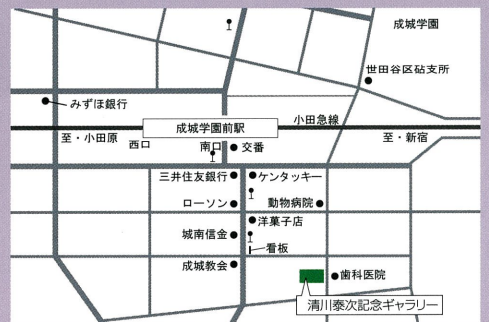
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

交通案内 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

世田谷美術館の分館、清川泰次記念ギャラリーは成城の閑静な住宅街にあります。温かみのあるモダンな建築の前には芝生が広がり、四季折々の草花が咲きます。当館は、清川泰次のアトリエ兼住居だった個人宅を一部改装したもので、規模は大きくありませんが、落ち着いた雰囲気でご鑑賞いただけます。併設された区

民ギャラリーは、区民の方々の創作活動の発表の場として、週単位で、様々な展示が開催されています。(展示予定はホームページをご覧ください)

清川泰次の作品を展示している小展示室では、お茶を飲みながらゆっくりと関連図書などをご覧いただけます。



## 世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

TEL 03-3415-6011 (代表)

展覧会のご案内：TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

<http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

※詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催企画展

- ポストン美術館 華麗なるジャポニスム展  
—印象派を魅了した日本の美  
2014年6月28日(土)～9月15日(月・祝)

- 難波田史男の世界展  
2014年12月6日(土)～2015年2月8日(日)

- 松本瑠樹コレクション ユートピアを求めて  
ポスターに見るロシア・アヴァンギャルドとソヴィエト・モダニズム  
2014年9月30日(火)～11月24日(月・休)

同時開催ミュージアム コレクション  
塩田コレクション 北大路魯山人展 2014年9月28日(日)～12月21日(日)



世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1

TEL 03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

向井潤吉—異国の空の下で

2014年8月9日(土)～12月7日(日)

©宮本和義



世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL 03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

開館10周年 宮本三郎の仕事1940's-1950's  
従軍体験と戦後の再出発

2014年8月9日(土)～12月7日(日)

©宮本和義